

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(3/8)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
「森里海連環 高津川流域ふるさと構想」特区 (島根県益田地区広域市町村圏事務組合)	正	3.6	3.9 <u>進捗度</u> ・路網整備と計画的施業の推進 94% ・地域資源を活用した農村定住・交流促進 163% ・高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖 87%	4.0 <u>規制の特例等</u> ・地域限定特例通訳案内士育成等事業 等 <u>財政支援等</u> ・山村境界基本調査 ・壊れない作業路網整備事業 等 <u>地域独自の取組</u> ・森林資源活用事業 等	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・「森」「川」「里」の3つのバランスある発展のため、生産、観光、自然保全の3つの分野で計画が創られており、豊かな自然環境を活かした交流人口の増大を通じた地域振興という取り組みの方向性は高く評価することができる。 ・狩猟の規制緩和は効果があがっていると判断する。 ・財政・税制・金融支援の積極的活用については、特に地域独自の取組について、一定程度、活発であると評価できる。 ・取り組みの成果を適切にアピールする指標になっていない印象が強い。特区の目標や規制改革の内容と各種指標がちぐはぐのように思える。 ・「木材生産量」については、平成27年度までは、実績値が目標値を上回る、ないし同じであったが、平成28年度においては進捗度90%となっている。「小規模な事業者の木材利用が低調となった」とあるが、その背景にまで分析が及んでいない。 ・水質浄化を評価指標としているところに難しさがある。また、資源管理状況を示すものとして引き続き流下数は把握されるべきと考える。

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。